

飼料用トウモロコシの新しい奨励品種「北交72号」

福島県農業総合センター 畜産研究所飼料環境科

部門名 飼料作物一飼料作物一品種

担当者 遠藤幸洋・松澤保・吉田安宏・片倉真沙美・中村フチ子・武藤健司・菅野登

I 新技術の解説

1 要旨

飼料自給率の向上を図るため、本県の気象条件等に適した飼料用トウモロコシ品種の選定を行った。「福島県優良品種(輸入 F1 サイレージ用トウモロコシ)総合評価基準」(平成 17 年改訂)に基づき評価した結果、「北交72号」は優良な品種であった。

主な生育特性は以下のとおりである。

- (1) 出芽から刈り取り適期である黄熟期までの日数が、約 110 日の早生タイプである(表1)。
- (2) 乾物収量は、標準品種と同等で、10 アール当たりの総乾物収量は 1,908kg である(図1)。
- (3) 耐病性は、標準品種と同程度であるが、紋枯病はやや弱い傾向がある(表2)。

2 期待される効果

安定した自給飼料生産が期待できる。

3 適用範囲

平坦部の飼料用トウモロコシ一期作地帯

4 普及上の留意点

- (1) 病害や倒伏を軽減するためには、適期播種を行い、栽植密度は 7,000 本/10a 以下とする。
- (2) 紋枯病多発地帯での栽培は避ける。
- (3) 早晚生のタイプは品種カタログの RM 値によって分類しているが、品種選定に当たっては生育日数も考慮する。
- (4) 北交72号は国内育成品種であり、品種登録名「きみまる」として販売予定である。

II 具体的データ等

表1 飼料用トウモロコシ「北交72号」の生育特性(3か年平均)

RM (カタログ)	生育日数(日)			桿長 (cm)	着雌穗高 比率(%)	倒伏・折損率(%)			合計
	播種～出芽	出芽～絹糸	出芽～黄熟			倒伏率	折損率		
北交72号	110	10.0	63.3	110.7	255	49.9	0	0.4	0.4
(標) 36B08	106	10.3	60.3	108.7	231	48.1	1.6	1.6	3.2
(標) KD640	114	10.3	67.0	114.0	279	45.2	0	0	0

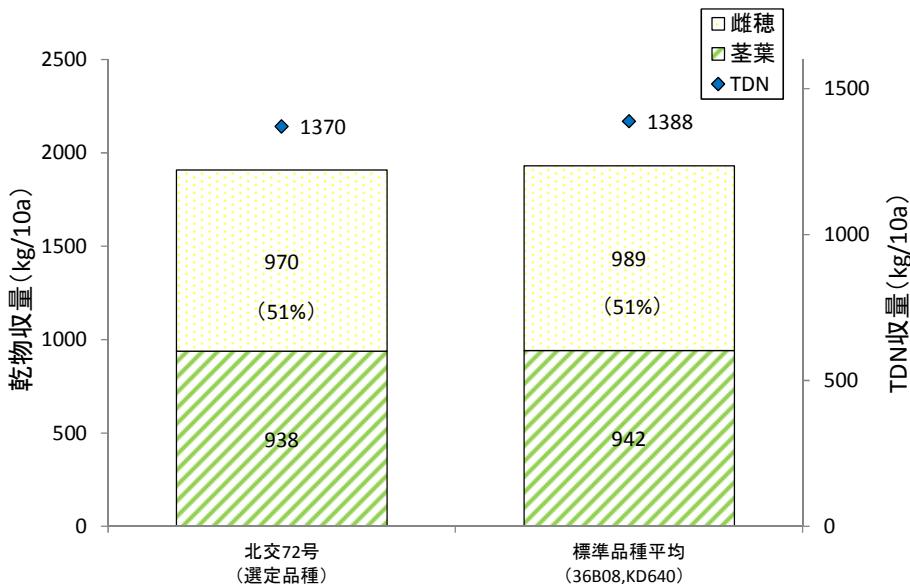


図1 北交72号と標準品種の収量比較(3か年平均) ※グラフ内数値は乾雌穂重割合

表2 飼料用トウモロコシ「北交72号」の病害発生程度(3か年平均)

	すす紋病 (1~9)※1	ごま葉枯病 (1~9)※1	黒穂病 (%)	根腐病 (%)	すじ萎縮病 (%)	紋枯病 (%)
北交72号	1.5	1.5	0	2.8	0	7.0
(標) 36B08	1.3	1.2	0.2	0.8	0	4.8
(標) KD640	1.8	1.7	0.8	1.6	0	5.5

※1: 病害がみられないものを1、甚だしいものを9として表示

III その他

1 執筆者

遠藤幸洋

2 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 22 年度～26 年度
- (2) 研究課題名 牧草・飼料作物の優良草種・品種の選定(飼料用トウモロコシ奨励品種選定試験)

3 主な参考文献・資料

なし